

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	安藤 真澄	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline) 専門演習Ⅲの続きで、卒業論文を仕上げる。
--

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	ディスカッション形式で進める。 各自、執筆を進める中で、適宜、進捗状況を確認し、互いに論評することで精査を進める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	イントロダクション	夏季休暇中の研究進捗状況の確認 後期の目標とスケジュール確認。論文執筆の進捗状況を共有。 執筆時に注意すべきポイント（文献引用の適切な使い方や倫理など）。	□
第2回	構成チェックと仮完成版の提出	各自の論文構成を再確認し、仮完成版（イントロダクション+概要）の提出	□
第3回	グループディスカッション	関連するテーマの学生同士での意見交換。 論文の論旨が明確か、視点が偏っていないかを相互レビュー	□
第4回	中間報告会	各自の進捗報告。構成や主張の明確性についてコメント	□
第5回	フィードバックセッション	中間報告会のフィードバックを元に改善計画を立てる	□
第6回	執筆講座：データと議論の深化	データやアンケート結果を論文内で効果的に活用する方法を学ぶ。	□
第7回	個別指導1	各学生の進捗状況に応じた個別指導	□
第8回	課題文献の読解	論文執筆の参考となる課題文献を配布し、批判的に読む練習	□
第9回	執筆期間（自由作業日）	自由作業日として、執筆に集中する時間を確保。 必要に応じて質問を受け付ける。	□
第10回	個別指導2	進捗に応じた個別指導と相談。	□
第11回	仮完成版の提出とレビュー	仮完成版を提出し、教員と学生間でレビューを行う。	□
第12回	改善作業日	レビュー結果を元に、各自の論文を修正	□
第13回	最終チェック	引用、形式、表現の最終確認と修正	□
第14回	ゼミ交流会への参加 最終発表会	各ゼミのプレゼンテーションを共有する 各自の論文を発表し、全員で意見交換と総括	□
第15回	最終発表会	各自の論文を発表し、全員で意見交換と総括	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details) 日頃からインターネットユーザーの行動に関心を持っておく。単なるユーザーではなく、インターネットビジネスをする側が何を目的としているかを考える。配布される資料を読み込み、わからないところは自分で調べる（4時間）。授業で学んだ内容を確認する（1時間）。研究に必要な資料収集、調査企画等、授業時間外に行う作業が出て来るので、時間を効率的に使うこと。疑問点が生じた際には直ちに質問すること。
--

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback) 適宜課題を与えるが、基本的に自分で研究を進める。進捗確認を行いながら、必要なフィードバックを実施する。フィードバックは授業時間内に限定しない。
--

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	経営を取り巻く環境変化、中でも情報環境の変化と生活者の情報行動の変化に関心を持ち、その変化がビジネスや社会全体に与える影響を幅広く思考し、多面的な判断の上、中長期的な課題を考えることができる。その前提としてインターネット上に存在する多様な意見を是々非々で評価できる。それらの考えを論文にまとめて、発表できる。
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	インターネットの利便性と社会的課題を理解し、インターネット上の情報に振り回されたり、怪しい情報を発信・拡散したりしないようなインターネットのメディアリテラシーを身につけ、インターネットを利活用できる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
			80%	20%
授業内試験等(具体的内容) (Specific contents) 卒業論文の内容、課題提出、授業への参加姿勢等で総合的に判断します				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	レポート・論文の書き方入門大4版 河野哲也 慶応義塾大学出版会	9789-4-7664-2527-7
2	面白くて刺激的な論文のためにリサーチ・クエスチョンの作り方と育て方 論文刊行ゲームを超えて M. アルヴェッソン、J. サンドバーグ、佐藤郁哉 (訳) 白桃書房	978-4-561-26782-9
3	社会調査の考え方 上 佐藤郁哉 東京大学出版会	978-4-13-052026-3
4	社会調査の考え方 下 佐藤郁哉 東京大学出版会	978-4-13-05207-0
5	まったく新しいアカデミック・ライティングの教科書 阿部幸大 光文社	978-4334103804